

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策1)中小企業・小規模企業の経営基盤強化及び経営の革新の推進に関すること	
事業名	実施事業1-1 相談窓口の連携強化	
目的	相談窓口の連携強化を図ることにより、企業の経営基盤を強化する。	
取組内容	市窓口において、相談者が必要とする支援内容を精査し、関係機関と連携して支援を行った。	
事業の成果と課題	成果	関係機関との連携により、対応の質が向上した。
	課題	多様化する相談内容に対して対応する職員の知識等の向上や相談内容に対応するための情報収集。

次年度の考え方	方向性			判定
	A	重点化・拡大して継続		
B	現状のまま継続	1	大幅な見直しは必要ない	B-1
		2	見直しには法令等の改正が必須	
		3	見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4	現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1	見直し・縮小	
		2	他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1	休止	
		2	廃止	
		3	完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策1)中小企業・小規模企業の経営基盤強化及び経営の革新の推進に関すること	
事業名	1-2 よろず支援相談	
目的	事業者が直面する経営課題の解決を図る。	
取組内容	<p>・市街地活力施設によるよろず支援相談窓口を設置。茨城県よろず支援拠点からの専門相談員(中小企業診断士、事業承継士)を配置し、事業者が直面する経営課題の解決を図った。</p> <p>・市公式ホームページや市SNS、さらに創業スクール受講者などヘチラシを配布し利用勧奨を行った。</p>	
事業の成果と課題	成果	相談実績:1件
	課題	よろず支援相談窓口の利用勧奨。

次年度の考え方	方向性			判定
	A	重点化・拡大して継続		
B	現状のまま継続	1	大幅な見直しは必要ない	B-1
		2	見直しには法令等の改正が必須	
		3	見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4	現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1	見直し・縮小	
		2	他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1	休止	
		2	廃止	
		3	完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策1)中小企業・小規模企業の経営基盤強化及び経営の革新の推進に関すること	
事業名	1-3 経営基盤強化の支援	
目的	事業計画の策定や人材育成を促進し、経営基盤の強化を図る。	
取組内容	令和7年度新規事業の事前準備として、DXやIT化の活用推進など各種支援策について調査・研究を進めた。	
事業の成果と課題	成果	DXやIT化などデジタル化推進のための各種支援策について情報収集し、実施事業について方向性が定まった。
	課題	経営基盤強化を図るために有用な支援策の把握。

次年度の考え方	方向性			判定
	A	重点化・拡大して継続		
B	現状のまま継続	1	大幅な見直しは必要ない	B-1
		2	見直しには法令等の改正が必須	
		3	見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4	現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1	見直し・縮小	
		2	他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1	休止	
		2	廃止	
		3	完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策1)中小企業・小規模企業の経営基盤強化及び経営の革新の推進に関すること	
事業名	1-4 中小企業事業資金融資あっ旋	
目的	中小企業者に対する事業資金の融資及び保証をあっ旋し、事業者の金融の円滑化を図る。	
取組内容	龍ヶ崎市中小企業事業資金融資あっ旋条例に基づき、市内の中小企業者に対する融資及びこれに関する保証をあっ旋し、設備投資や必要な運転資金について円滑な資金繰りを促進した。	
事業の成果と課題	成果	決定数55件/貸付金額402,600千円/信用保証料補助額13,419千円(内訳:自治金融45件/247,900千円/8,440千円、振興金融10件/154,700千円/4,979千円)
	課題	物価高騰等による事業形態の変化への対応。

次年度の考え方	方向性			判定
	A	重点化・拡大して継続		
B	現状のまま継続	1	大幅な見直しは必要ない	B-1
		2	見直しには法令等の改正が必須	
		3	見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4	現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1	見直し・縮小	
		2	他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1	休止	
		2	廃止	
		3	完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策1)中小企業・小規模企業の経営基盤強化及び経営の革新の推進に関すること	
事業名	1-5 BCP(事業継続計画)策定支援	
目的	各事業者にBCP(事業継続計画)の策定を促し、経営の安定化を図る。	
取組内容	市商工会主催により、専門家を講師としたセミナーの開催及び個別相談会の実施により、BCP計画策定の支援を推進した。 ・BCP策定セミナー 1回(11/13) ・個別支援講座 3回(12/5・8・11)	
指標	指標名	BCP(事業継続計画)策定事業者数
	目標値	15社 R8年度
	実績	3社
事業の成果と課題	成果	新たに3社がBCP(事業継続力強化計画)計画を策定し、経営の安定化を図った。
	課題	BCP策定事業者の増加。

	方向性		判定	
	次年度の考え方	A		重点化・拡大して継続
B		現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない	
			2 見直しには法令等の改正が必須	
			3 見直しの必要性はあるが時期尚早	
			4 現状では見直しが不可能	
C		見直して継続	1 見直し・縮小	
			2 他事業との整理・統合	
D		休止・廃止等	1 休止	
			2 廃止	
			3 完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画 事業評価

施策名	(施策1)中小企業・小規模企業の経営基盤強化及び経営の革新の推進に関すること	
事業名	1-6 新型コロナウイルス感染症の影響への支援	
目的	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、事業者の経済的な影響を緩和するための経済支援を講じ、事業者の継続的な経済活動の維持を図る。	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経営の安定に支障を生じている中小企業者への資金供給の円滑化を図るため、中小企業信用保険法によるセーフティーネット4号・5号について認定を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響に加え、電気・ガス等のエネルギー価格の高騰に伴い、更なる経済的な影響を受けている事業者等を支援するため、市内で事業を営む方へ「龍ヶ崎市事業者等エネルギー高騰対策支援金」を交付した。 	
事業の成果と課題	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・セーフティーネット4号・5号認定数 184件(内訳:4号 122件、5号 62件) ・龍ヶ崎市事業者等エネルギー高騰対策支援金交付件数 1,572件(内訳:個人事業者3万/729件、法人6万/843件)
	課題	国の制度改正への対応。

次年度の考え方	方向性			判定
	A	重点化・拡大して継続		
B	現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない		
		2 見直しには法令等の改正が必須		
		3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
		4 現状では見直しが不可能		
C	見直して継続	1 見直し・縮小		
		2 他事業との整理・統合		
D	休止・廃止等	1 休止		
		2 廃止		
		3 完了		

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策1)中小企業・小規模企業の経営基盤強化及び経営の革新の推進に関すること	
事業名	1-7 企業立地奨励金	
目的	新たに事業を行う企業に対し奨励金を交付し、産業の振興及び雇用の拡大を図る。	
取組内容	企業立地を促進するため、企業立地促進条例に基づき、市内の事業所において新たに工場を増設した2社(3件)に対し、企業立地奨励金を交付した。	
事業の成果と課題	成果	工場増設により、交付事業所における雇用数が38名増加した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・既存用地に空きが少ないこと。 ・工業団地開発に係る国県や関係機関の協力。

次年度の考え方	方向性			判定
	A	重点化・拡大して継続		
B	現状のまま継続	1	大幅な見直しは必要ない	B-3
		2	見直しには法令等の改正が必須	
		3	見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4	現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1	見直し・縮小	
		2	他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1	休止	
		2	廃止	
		3	完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策2) 中小企業・小規模企業の新たな事業の展開及び販路拡大の推進に関すること	
事業名	2-1 展示会等出展支援事業補助金	
目的	自社で取り扱う製品等の販路拡大及び販売促進を目的とした展示会等への出展を支援・促進し、産業の活性化を図る。	
取組内容	利便性向上を図るため龍ヶ崎市展示会等出展支援事業補助金交付要綱(令和5年10月31日告示)を見直し(オンライン展示会及び運搬費・リース費を対象経費とする。補助上限引上げ(5万⇒10万))、市外への販路拡大を支援した。また、市公式ホームページにより利用勧奨を行った。	
指標	指標名	展示会等出展支援事業補助金の利用件数
	目標値	5件(R8年度)
	実績	1件(制度改正前)
事業の成果と課題	成果	展示会等への出展に係る支援の拡大が図れた。
	課題	補助制度の周知。

次年度の考え方	方向性			判定
	A	重点化・拡大して継続		
B	現状のまま継続	1	大幅な見直しは必要ない	
		2	見直しには法令等の改正が必須	
		3	見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4	現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1	見直し・縮小	
		2	他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1	休止	
		2	廃止	
		3	完了	
				A

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策2) 中小企業・小規模企業の新たな事業の展開及び販路拡大の推進に関すること	
事業名	2-2 創業者の交流機会の創出	
目的	創業者の交流機会を創出し、アイデアの共有や業界トレンドの把握等により、新分野への取り組みや、新たな事業展開を促す。	
取組内容	市内において創業した方と龍ヶ崎市創業スクールを受講した方を対象に、経営改善につながるヒントや事業を共に進めていくビジネスパートナーの発掘を目的とした「起業家サロン龍ヶ崎」を開催した。 開催日等: 令和6年12月8日(金) Match-hako龍ヶ崎 2階セミナールーム	
指標	指標名	創業者の交流会への参加者数
	目標値	R5年度新規事業 16人(R5年度)
	実績	22人(創業補助金利用者5名、創業スクール受講者14名、Match-hako会員3名)
事業の成果と課題	成果	参加者から「先輩起業家からアドバイスを受け、モチベーション向上につながった」、「ビジネスパートナーが発掘できた」などの感想があり、有意義な交流機会の一助となった。
	課題	新分野への取り組みや、新たな事業展開を促すための支援制度の検討。

次年度の考え方	方向性			判定
	A	重点化・拡大して継続		
B	現状のまま継続	1	大幅な見直しは必要ない	B-1
		2	見直しには法令等の改正が必須	
		3	見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4	現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1	見直し・縮小	
		2	他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1	休止	
		2	廃止	
		3	完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策3) 中小企業・小規模企業の人材の確保及び育成の推進に関すること	
事業名	3-1 求人案内	
目的	龍ヶ崎公共職業安定所(ハローワーク龍ヶ崎)管内の求人情報を周知することにより、龍ヶ崎管内事業者と龍ヶ崎管内で働きたい者のマッチングを図る。	
取組内容	龍ヶ崎公共職業安定所(ハローワーク龍ヶ崎)と連携し、龍ヶ崎管内の求人情報を週1回、市公式ホームページに掲載するとともに、市役所1階求人情報コーナーへチラシを設置し求人情報の提供を行った。また、市SNS(Twitter・Facebook)を活用した情報発信を行った。	
事業の成果と課題	成果	市SNS(Twitter・Facebook)による情報発信を開始し、手軽に龍ヶ崎管内の求人情報を閲覧出来る環境が整備された。
	課題	求人案内における情報提供について、情報の出し方やマッチングの仕方など、働きたい方に対する有用な情報発信の検討。

次年度の考え方	方向性		判定
	A	重点化・拡大して継続	
B	現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない	B-1
		2 見直しには法令等の改正が必須	
		3 見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4 現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1 見直し・縮小	
		2 他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1 休止	
		2 廃止	
		3 完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策3) 中小企業・小規模企業の人材の確保及び育成の推進に関すること	
事業名	3-2 就職支援セミナー	
目的	龍ヶ崎公共職業安定所(ハローワーク龍ヶ崎)と連携し、履歴書や職務経歴書の書き方、面接などに対応したセミナーを開催し、早期就職を促す。	
取組内容	龍ヶ崎公共職業安定所(ハローワーク龍ヶ崎)と共催により、龍ヶ崎市商工会2階セミナールームを会場に、令和5年5月から令和6年3月にかけて、月1回(合計11回)のハローワークミニセミナーを開催した。 内容等:書類選考対策セミナー4回、面接対策セミナー4回、シニア向けセミナー3回	
指標	指標名	就職支援セミナー参加者数
	目標値	350人 R8年度
	実績	256人(面接対策75人、書類選考対策120人、生涯現役61人)
事業の成果と課題	成果	セミナーを複数回開催することにより、面接や書類選考に不安を抱える方のサポートが図られた。
	課題	高齢者や障がい者の就職につなげるためのセミナーの検証。(共同開催の牛久市・取手市との調整が必要)

次年度の考え方	方向性		判定
	A	重点化・拡大して継続	
B	現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない	B-1
		2 見直しには法令等の改正が必須	
		3 見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4 現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1 見直し・縮小	
		2 他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1 休止	
		2 廃止	
		3 完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策3) 中小企業・小規模企業の人材の確保及び育成の推進に関すること	
事業名	3-3 就職フェア	
目的	市内企業への就職機会を創出することにより、人口流出抑制、UIターン促進、定住人口増加を促す。	
取組内容	移住・定住促進並びに地元企業の雇用安定を目的に、市内での就職を希望する学生・転職者・既卒者・第二新卒者を対象に、市主催による就職フェアを開催した。 開催日等: 令和5年11月11日(土) ニューライフアリーナ龍ヶ崎「サブアリーナ」	
指標	指標名	参加者数、参加事業所数
	目標値	参加者数60人、参加事業所数20社(R8年度)
	実績	参加者数50名、参加事業所数22社
事業の成果と課題	成果	参加者数:50名、参加事業所数:22社 採用状況:選考14名、採用3名
	課題	採用数の増加。

次年度の考え方	方向性		判定
	A	重点化・拡大して継続	
B	現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない	A
		2 見直しには法令等の改正が必須	
		3 見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4 現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1 見直し・縮小	
		2 他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1 休止	
		2 廃止	
		3 完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策4) 中小企業・小規模企業の事業承継の円滑化の推進に関すること	
事業名	4-1 事業承継のための支援	
目的	茨城県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、事業承継に関する各種制度について情報提供し、円滑な事業承継を推進する。	
取組内容	<p>・「茨城県事業承継支援ネットワーク」の構成機関に加入し、セミナーや相談窓口設置のための協議調整に取り組んだ。</p> <p>・事業承継支援の参考とするため、中小機構主催の「事業承継支援セミナー(オンライン)」に参加。また、先進自治体における取組み事例について調査研究した。</p> <p>※茨城県事業承継支援ネットワークとは 県内の中小企業の円滑な事業承継を促進するため、県内の商工会議所、商工会、金融機関、支援機関、土業団体等の44構成機関により連携・協働体制を構築するネットワーク。</p>	
事業の成果と課題	成果	茨城県事業承継支援ネットワークの構成機関に加入したことにより、同センターとのマッチングが実施できる環境が整備された。
	課題	セミナー等の開催にあたり、専門職員が少数のため派遣日程の調整が必要。

次年度の考え方	方向性		判定
	A	重点化・拡大して継続	
B	現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない	A
		2 見直しには法令等の改正が必須	
		3 見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4 現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1 見直し・縮小	
		2 他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1 休止	
		2 廃止	
		3 完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策4) 中小企業・小規模企業の事業承継の円滑化の推進に関すること	
事業名	4-2 事業承継相談会	
目的	専門講師による相談会を開催し、円滑な事業承継を促進する。	
取組内容	茨城県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、セミナー及び個別相談会を開催するための、協議・調整を行った。	
指標	指標名	事業承継セミナー参加企業数
	目標値	15社以上参加(R6年度)
	実績	個別相談会(9月・10月・1月) 事業承継に関するセミナー(11月頃)で実施予定
事業の成果と課題	成果	セミナー及び個別相談会の方向性が定まった。
	課題	事業承継に悩む事業者の把握。

次年度の考え方	方向性			判定
	A	重点化・拡大して継続		
B	現状のまま継続	1	大幅な見直しは必要ない	
		2	見直しには法令等の改正が必須	
		3	見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4	現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1	見直し・縮小	
		2	他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1	休止	
		2	廃止	
		3	完了	
				A

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策6) 中小企業・小規模企業の従業員の労働環境の整備及び仕事と生活の調和の確保に向けた取組の推進に関すること	
事業名	6-1 インキュベーションオフィスの運営支援	
目的	創業間もない事業者等に対し、就業環境を整備し運営を支援する。	
取組内容	Match-hako龍ヶ崎を運営する龍ヶ崎市商工会に対し、経費の一部を補助し、就業環境の整備を図った。	
指標	指標名	インキュベーションオフィス利用者数
	目標値	75人(R8年度)
	実績	74人
事業の成果と課題	成果	Match-hakoの利用者について、前年度(49人)と比較し25人の利用者増となり、大幅な増加となった。
	課題	利用者ニーズ等への対応。

次年度の考え方	方向性			判定
	A	重点化・拡大して継続		
B	現状のまま継続	1	大幅な見直しは必要ない	B-1
		2	見直しには法令等の改正が必須	
		3	見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4	現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1	見直し・縮小	
		2	他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1	休止	
		2	廃止	
		3	完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策6) 中小企業・小規模企業の従業員の労働環境の整備及び仕事と生活の調和の確保に向けた取組の推進に関する事	
事業名	6-2 茨城働き方改革推進支援センターとの連携	
目的	市内中小企業者及び小規模事業者等へ働き方改革の普及啓発を図ることにより、労働環境を整備し、離職者の減少を図る。	
取組内容	茨城働き方改革推進支援センターが行っている働き方改革等の支援策について、市公式ホームページに掲載するとともに、市役所1階求人情報コーナー等へポスター・チラシを設置し、働き方改革の普及啓発を行った。	
事業の成果と課題	成果	相談件数:2件(労務管理に関する事)
	課題	企業への人材定着のため、多様な働き方を可能とする就労しやすい環境の普及。

次年度の考え方	方向性		判定
	A	重点化・拡大して継続	
B	現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない	B-1
		2 見直しには法令等の改正が必須	
		3 見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4 現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1 見直し・縮小	
		2 他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1 休止	
		2 廃止	
		3 完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策7) 中小企業・小規模企業の創業の促進に関すること	
事業名	7-2 起業家支援体制の促進	
目的	取手市との連携を強化し、創業者の増加及び新事業の創出を図ることにより、地域経済の活性化を推進する。	
取組内容	Match-46(7月・2月)の発行及び両市で開催された創業スクールの周知を行った。また、龍ヶ崎市・取手市の創業スクール受講者に対し、証明書(強化法施行規則第7条第1項の証明)を交付した。 ※Match-46とは 起業家情報誌であり、起業・創業に興味のない潜在的な起業希望者の発掘を行う全戸配布のフリーペーパー。36,000部発行。	
事業の成果と課題	成果	創業スクール受講者:53名(龍ヶ崎市28名、取手市25名) 証明書交付を受けた人数:9名(龍ヶ崎市7名、取手市2名)
	課題	潜在的な起業希望者の発掘。

次年度の考え方	方向性		判定
	A	重点化・拡大して継続	
B	現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない	B-1
		2 見直しには法令等の改正が必須	
		3 見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4 現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1 見直し・縮小	
		2 他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1 休止	
		2 廃止	
		3 完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策7) 中小企業・小規模企業の創業の促進に関すること	
事業名	7-3 創業スクール等の開催	
目的	初期起業準備者には、起業をより身近に感じられる場、起業をより具体的に考えられる場を提供し、起業準備者には、事業への道筋をより明確にする場を提供する。	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・創業時の基本的な知識を習得するための支援として、創業スクールを開催(経営ビジョン、経営管理、人材育成、マーケティング、開業手続きでプレ含め全6回)した。 ・創業機運醸成の取組みとして、女性のための創業セミナー(女性創業者による講義及びグループワーク)を7/27に開催した。 	
事業の成果と課題	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・創業スクール受講者:32名(うち27名(4回以上受講した方)へ終了証書を交付) ・女性のための創業セミナー参加数:16名
	課題	創業スクール受講後及び創業後のサポートやフォローアップ。

次年度の考え方	方向性		判定
	A	重点化・拡大して継続	
B	現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない	B-1
		2 見直しには法令等の改正が必須	
		3 見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4 現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1 見直し・縮小	
		2 他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1 休止	
		2 廃止	
		3 完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策7) 中小企業・小規模企業の創業の促進に関すること	
事業名	7-6 創業促進事業補助金	
目的	創業をためらっている創業希望者に対し、創業に必要な経費の一部を補助することで創業の後押しをする。	
取組内容	創業促進事業補助金交付要綱を改正し、市公式ホームページや市SNSなどにより制度の周知を図った。また、これまでの創業促進事業補助金の利用者へフォローアップとして状況調査を行い、創業後の運営状況の把握に努めた。	
指標	指標名	創業促進事業補助金利用による創業件数
	目標値	10件(R8年度)
	実績	8件
事業の成果と課題	成果	補助金交付件数:14件(1年目:8件、2年目:1件、3年目:5件)
	課題	補助金交付後のサポート。

次年度の考え方	方向性		判定
	A	重点化・拡大して継続	
B	現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない	B-1
		2 見直しには法令等の改正が必須	
		3 見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4 現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1 見直し・縮小	
		2 他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1 休止	
		2 廃止	
		3 完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策8) 中小企業・小規模企業の誘致及び新産業の創出に関すること	
事業名	8-3 企業誘致の促進	
目的	企業立地の戦略的展開	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「道路ネットワーク向上を契機とした沿線地域の産業用地の創出」について、茨城県に要望した。 ・茨城県立地整備課との意見交換会を実施した。 	
事業の成果と課題	成果	県内における企業誘致の現状、茨城県による企業誘致の考え方や本市の現状を確認し、認識の共有が図られた。
	課題	企業誘致に適した用地の確保。

次年度の考え方	方向性			判定
	A	重点化・拡大して継続		
B	現状のまま継続	1	大幅な見直しは必要ない	B-1
		2	見直しには法令等の改正が必須	
		3	見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4	現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1	見直し・縮小	
		2	他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1	休止	
		2	廃止	
		3	完了	

令和5年度 龍ヶ崎市中小企業・小規模企業振興基本計画
事業評価

施策名	(施策9) 中小企業・小規模企業に関する情報の収集及び提供に関すること	
事業名	9-1 支援制度の情報発信	
目的	国、県、市及び関係機関で行っている支援制度を市公式ホームページやSNS等を活用し、情報収集の環境整備を図る。	
取組内容	国・県及び市の支援策について、市公式ホームページや市SNS(Twitter・Facebook)を活用し、広報活動を行った。	
事業の成果と課題	成果	情報提供の環境が向上した。
	課題	国・県の情報収集及び速やかな情報発信。

次年度の考え方	方向性			判定
	A	重点化・拡大して継続		
B	現状のまま継続	1	大幅な見直しは必要ない	B-1
		2	見直しには法令等の改正が必須	
		3	見直しの必要性はあるが時期尚早	
		4	現状では見直しが不可能	
C	見直して継続	1	見直し・縮小	
		2	他事業との整理・統合	
D	休止・廃止等	1	休止	
		2	廃止	
		3	完了	